

令和2年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和2年7月2日(木) 仙台第3合同庁舎2階大会議室
委員	委員長：鈴木 利夫(大学教授) 委員長代理：赤石 雅英(公認会計士・税理士) 委員：伊東 満彦(弁護士) 委員：石綿 はる美(大学院准教授) 委員：棚橋 則子(大学講師)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	東北防衛局：令和2年1月1日～令和2年3月31日
審議対象件数	34件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	4件(7契約)	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
建設工事	一般競争	0件
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
建設コンサルタント業務等	2件(5契約)	
意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p><b>【抽出案件】</b></p> <p>○工事 ◇一般競争契約(政府調達協定対象外)</p> <p><b>【空自秋田(元)宿舎新設機械工事】</b></p> <p>・本件は、特殊な工事とは思われないが1者入札であった。その原因は何か。</p> <p>・本件は、3回目の札入れで漸く99.93%の高率で落札したものであるが、このような結果となった要因についてどう考えているのか。</p>	<p>・地元における設備工事の発注状況を聴取したところ、秋田市内の体育館、消防署等の案件が同時期に予定されており、業者はそれらの事案を注視しているようであった。また、水道給水管の更新工事が継続しており、魅力を感じているとのことであった。</p> <p>・落札した業者は、地域内の労務者の需要が旺盛であり、労務費が高止まりしているため入札金額を下げることはできないとしている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p><b>【多賀城外(元) 宿舎改修等建築その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は、低入札価格調査（87.72%）を実施し、落札者が決定した案件であるが、従来、本件の様な①工事場所が分散、②建築、土木、設備等の工事種別が多彩、③小規模な工事が含まれる、という案件は業者から敬遠されがちで、1者入札や高落札率となる傾向である旨の説明を受けてきたが、今回、このような結果となった要因についてどう考えているのか。</li> <li>・3地区の工事を1件としたのは、地区が隣接しているためか。</li> <li>・予定価格には業者の見積が反映されているのか。</li> </ul> <p>○コンサルタント業務 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外）</p> <p><b>【空自三沢外(元) 建築工事監理業務】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、三沢地区の建設工事監理業務は落札率が80%前後で推移していたが、今回、99.34%と高落札率となった理由は何か。</li> <li>・発注時期が年度末となったのは補正予算の関係か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は、宮城県内の多賀城地区、大和地区及び松島地区の3か所の工事場所となるが、落札した業者は仙台市内にあり、各地区から近距離であり交通も至便である。 多賀城地区は宿舎の改修工事であるが、落札業者は住宅部門も手掛けており効率的に施工可能としている。 また、大和地区は工具庫新設と整備場の改修で一般的な建設工事であり、松島地区は建物の解体工事である。 各地区において、工事規模は大きくないものの多岐に渡る工事内容とはなっていないことから、競争性が発揮されたものと考えている。</li> <li>・それぞれの地区の工事規模が小さいため、まとめることによりロットをある程度大きくして業者に受注意欲を促そうとしたものである。</li> <li>・基本は積算によっているが、過去の経験等により積算と乖離が大きいと判断される部分については見積の依頼をしているものもある。 本件については、大和地区の設備工事について見積を取っている。</li> <li>・発注時期が年度末となったことから管理技術者の確保が難しく、従来のように低価格で応札することはできなかったとのことである。 今後は、発注時期が年度末にならないよう検討する必要がある。</li> <li>・本件は補正予算とは関係ない。 発注済の工事の工程により年度末の発注となったものである。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・三沢地区の建築工事監理業務は令和元年度に本件も含め3件発注されているが、いずれも本件を落札した業者の1者入札である。過去5年間の実績では昨年度に1者入札が1件あった以外は複数者による入札であった。 競争性が失われたのはどのような理由か。</p> <p>①【大湊外(元)土木工事監理業務】 ②【三沢外(元)土木工事監理業務】 ③【空自秋田外(元)土木工事監理業務】 ④【多賀城外(元)土木その他工事監理業務】</p> <p>・この4件の土木工事監理業務について、①及び②の案件についてはA者及びB者が入札に参加し、A者が約80%で落札している。 ③及び④の案件については、B者の1者入札となっており落札率が約97%以上である。 ③及び④の案件についてA者が入札に参加しなかった理由は何か。</p> <p>・令和元年度においては、この4件以外にもう1件の土木工事監理業務を発注しているが、5件共、A者及びB者以外の業者は入札に参加していない。 平成30年度以前は他の業者も入札に参加し、落札した業者もいるが、上記2者以外の業者が入札に参加しない理由は何か。</p> <p>・防衛関係の専門の技術者が必要なのか。</p> <p>(総括) 説明を聞けば全体的に適切に実施されていると思える。 しかしながら施工場所及び施工業者に地域性があり、入札に参加できる業者が限られる状況にあることが見受けられる。 その点について理解できる箇所はあるが、より競争性が増えるように工夫、努力して欲しい。</p>	<p>・業界全体の技術者不足により、資格を有する者の確保が困難となっていることによるものと思われる。</p> <p>・A者は青森県内の案件を多く受注しており、B者は青森県以外の案件を多く受注している。 工事監理業務は工事期間中、技術者が現場に張り付かねばならず、長期間にわたり技術者を拘束することになる。 A者は、青森県内で対応出来る技術者を多く確保していることから青森県内の案件を多く受注出来るが、青森県以外では技術者の確保が困難なことから入札に参加しないものと思われる。 一方、B者は青森県以外でも技術者が確保できることから入札に参加できるものとする。</p> <p>・業界全体の技術者不足により、資格を有する者の確保が困難となっていることによるものと思われる。 また、特に最近では東北地方での発注件数が少ないことから他の地域へ配置せざるを得ず、東北地方での土木関係の技術者が逼迫していると承知している。</p> <p>・基地内の工事では各種の制約があることから、防衛専門の担当を置いている例が多いと思われる。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要) ・なし
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意 見 ・ 質 問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具 申 又は勧告の内容		・なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審 議 概 要		・落札率、応札率等の分析結果の報告を行った。	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意 見 ・ 質 問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具 申 又は勧告の内容		・なし	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			

## 令和2年度 入札監視委員会議事概要

防衛装備庁下北試験場

開催日及び場所	令和2年 7月 2日(木) 仙台第3合同庁舎2階会議室
委員	委員長：鈴木 利夫 (大学教授) 委員長代理：赤石 雅英 (公認会計士・税理士) 委員：伊東 満彦 (弁護士) 委員：石綿 はる美 (大学院准教授) 委員：棚橋 則子 (大学講師)

### II 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日	
審議対象件数	222 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	6件（10契約）	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
一般競争	4件（4契約）	
指名競争	0 件	
随意契約	2件（6契約）	
	意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問  ○それに対する回答等	<b>【抽出案件】</b>  ○一般競争契約	
	<b>【①電気の供給】</b>  ・役務に対して1者入札になっているが、それについて何か理由があるか。  ・電気の供給契約で役務の期間が半年というのは短いほうなのか。  ・事故や災害などにより落札した企業からの電力供給が行えなくなった場合、何らかの方法で他社からの電力供給を受けることは可能か。	・複数の企業からの入札参加の申し込みはあった。しかし、役務の期間が半年であったことから、適合しなかった企業が多かった。その結果、1者のみ入札となった。  ・そうである。しかし、本年度は期間を4月から1年間としたところ、4者が入札に参加していることから、改善傾向にあると考えられる。  ・まずは試験場内にある非常用発電機により当面の電力を確保する。その後、状況により他社から電力を受ける。

	意見・質問	回答
	<p><b>[②下北試験場配電線路の碍子洗浄作業]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札したA社は地元の企業か。</li> <li>・他の企業からの入札はなかったか。</li> <li>・契約金額が前年度と比べ2倍以上になっているが、その理由を簡潔にまとめると、試験場が海岸沿いにあり損害を受けやすいため、支障なく試験を実施するためのリスク管理上、碍子の洗浄作業の回数を増やす必要があると考え中央に申請した結果、その申請が認められたため洗浄作業の間隔を短くしたため金額が増加したという認識でよろしいか。</li> </ul> <p><b>[③下北試験場配電線路の点検作業]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は再公告案件であるが、当初の入札において、落札者が決定しなかった理由は何か。</li> <li>・審議資料の中に業者の見積が入っていない。 予定価格を市場価格を調査して積算しているとのことであるが、そのエビデンスが欲しい。</li> <li>・点検作業の頻度はどのくらいか。頻繁に行う必要があるならば、地元の業者しか行えないのではないか。</li> <li>・年2回ならば大湊や八戸の業者も入札に参加することで、競争性が働くようになるのではないか。</li> <li>・少なくとも過去4年間は碍子洗浄作業と同じ業者が点検作業を行っているが、一つにまとめることはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の企業である。</li> <li>・他の企業も入札に参加したが、競争した結果、A社が落札した。</li> <li>・そのとおりである。</li> <li>・予定価格より業者の入札金額が高かったため不調となったものである。</li> <li>・エビデンスについては今後添付します。 予定価格については、業者見積の中で最も安い見積書を基に市場価格を調査し、最も安いものを参考に積算している。</li> <li>・年に2回行っている。試験場の面積が広大なため、短期間で行うことが難しい。試験を実施しない土日等で試験場を停電させて行っている。</li> <li>・試験場の立地条件等を加味すると、遠方の企業が参加することはなかなか難しい。 今後の課題として、様々な企業が入札に参加できるようにしていきたい。</li> <li>・まとめて行うことは可能であるため、ご指摘のとおり今後はまとめて行っていくように改善していく。</li> </ul>

	意見・質問	回答
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方が企業側としても見積価格を下げる余地が生まれるため、検討してほしい。</li> <li><b>【④乾燥トイレ1台の保守整備】</b></li> <li>・乾燥トイレは何台あるか。</li> <li>・1台のみでこの金額か。</li> <li>・バキュームとはどういったものか。</li> <li>・1台でこの金額は高いのではないか。</li> <li>・乾燥トイレを設置するのはどのような場所か。</li> <li>・乾燥トイレを設置する合理的な理由を教えてください。</li> <li>・このトイレを設置することが必要なことはわかるが、トイレの維持管理として年間140万は高いと感じる。予定価格の積算は市場調査を行っているのか。</li> <li>・災害派遣等で使用している簡易トイレを代替として使用することはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1台のみである。</li> <li>・そうである。凍結防止のためのヒーター設置など、年間まとめて行っている。</li> <li>・保守点検に使用するものである。試験場内に下水施設がないため必要である。</li> <li>・下北試験場の近辺で履行可能な業者が少ないのが現状である。業者を増やす努力を行い競争性をより働かせることで、価格を下げようしていきたい。</li> <li>・試験場は広大であり、試験設備のある場所からトイレのある事務所までかなりの時間を要するため、試験設備の近くに設置している。</li> <li>・試験場内は砂地や砂利等で車両の通行が可能な場所が限られている。そのため、汲み取りのための車両が通行することが難しい。維持管理のためのランニングコストもかかるため、選択肢として乾燥トイレしかないのが現状である。</li> <li>・行っている。</li> <li>・試験によって大人数が試験場に入出入りをするため、現実的ではない。</li> </ul>
	<p><b>【抽出案件】</b></p> <p>○随意契約</p>	

	意見・質問	回答
	<p><b>[⑤ボイラーの運転管理業務委託]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より金額が増加した理由は何か。</li> <li>・ボイラーを管理する人は常駐しているのか</li> </ul> <p><b>[⑥スタッドレスタイヤ12本、ホイール12本購入ほか4契約]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤの銘柄を指定しているのか。業者は基本的に自分の系列会社のタイヤを基に見積をするのではないか。</li> <li>・タイヤの価格にばらつきがあるのは何故か。</li> <li>・夏タイヤから冬タイヤへの交換の単価と冬タイヤから夏タイヤへの交換の単価が1.5倍の差があるのは何故か。</li> <li>・冬タイヤから夏タイヤへの交換は3月にやらなければならないのか。</li> <li>・ジムニーの冬タイヤを2月で購入しているのは何故か。</li> <li>・タイヤ交換は試験場の隊員等で行えないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験等の実施の日程が確定した段階でボイラーの運転時間の見直しを行ったため、運転する日数も増えた。次の日の試験の準備や長時間勤務しなくてはならない日が増えていることが要因と思われる。半日勤務から1日勤務に変更した日もある。</li> <li>・24時間常駐しているわけではないが、運転時間中はいる。</li> <li>・タイヤの銘柄等は指定していないが、仕様書にて規格は記載している。</li> <li>・車両は25台あり、様々な車種がある。車種により、必要なタイヤサイズや仕様が異なるため、価格も違ってくる。</li> <li>・時期によって工賃等変わるため、金額に差が出ていると思われる。</li> <li>・3月にやらないと業者が受け付けてくれない。4月になると試験場以外の対応のため、業者が作業を行うのが難しい。</li> <li>・中央で調達した新車のため、試験場に配備された時期に合わせて購入した。</li> <li>・一部は再任用の職員にお願いしているが、年齢と体力を鑑みると全てのタイヤ交換は難しい。</li> </ul>
<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 提示されたいただいた審議資料ではわかりづらい点が見受けられたため、事前に資料を整理し次回は改善していただきたい。</li> <li>2 今後向けての改善がするとの回答があり、良いと思われる。</li> <li>3 税金を使っているため、効率的な運用をお願いしたい。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、検討していく。</li> </ul>



2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0 件	(審議概要) ・なし
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	・なし	・なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	・なし